

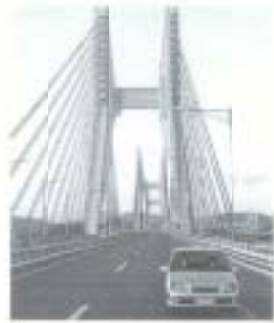
なかよし

# 中四さんかいラインをいく!

今年三月に岡山自動車道が全通して、高知ー米子間約二百七十。の自動車道がつながりました。すでに、このルートを使って日本海側を訪れた人も多いと思いますが、より身近になった日本海側と新ルートを広報委員会が取材しました。



## 太平洋



## 日本海

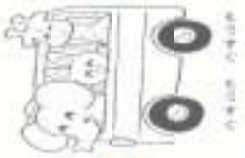


### 第一日目

トンネルをひとつ、ふたつと走り抜ける高知自動車道。その間にかい間見る秋の山々の紅葉には少し早かったようです。それにしても飛び出しや赤信号なしの高速ドライブは快適そのもので、時期によっては渋滞もあるように聞きました。太平洋・瀬戸内海・日本海を結ぶこの「中四さんかいライン」の平日の走行は、実にスムーズでした。

中国と四国を結ぶ瀬戸大橋は、人類の英知の結果、夢の架け橋。開通後十年経った今でも、連絡船乗り換えの時、宇野・高松駅構内を先を争って駆け抜けたことが思い出され、改めて感慨深いものがありました。

## 瀬戸内海



岡山に入り、山陽・岡山・中国自動車道。そして中国山地を越えて、というよりは峠と峠をつなぐ「山渡りの道路」と呼びたい米子自動車道トンネルもありましたが、つぎつぎと高い橋脚を渡るこの道路。いかほどの日数・人・お金がかかったかと思慮すると、∞(無限大)という記号が思い浮かびました。眺望は素晴らしいの一語に尽きます。

### 第二日目

米子の朝、みぞれのような雨が降っていました。



### 日本海側はすでに冬じたく

市内から少し離れた道路わきにある気温表示板は一度、山道に入ると雨は雪に変わりました。大山ではチェーン着用のサインがでて、米子自動車道に入ると峠々はすでに雪化粧。山陰土産は時ならぬ雪景色となりました。太平洋まで二百五十。という表示の下に、鯨の絵が描かれてまるで、おらんくの池の鯨が、「あと二百五十。あと二百。気をつけて帰ってきいや」と呼びかけているかのようでした。深まりゆく秋を追うつもりで、ひしと足先を凍冬を予感する旅となりました。

### 短歌

塵上の仰興に供奉の少年ら  
面清やかにきざはし降る  
同里町至ノ川 若目 浩千  
遠きし人持てし秋にと思わさ  
かげろふ揺れてゆらり揺らめく  
十市 加川 須磨

### 俳句

浸む水のすだれとなりて墮落つる  
下木松 松澤智恵子  
山深き出湯の里に秋惜しむ  
後免町 赤上 さと  
コーヒーの香の扉屋に満ち秋の朝  
大浦甲 凡内よし子

初冬や一際菊の艶やかに  
浜改田 清冽 保  
道院の母の笑顔にゆれるこすもす  
塩主 戸尾 茂子

大地にもお涙り吹し秋日和  
植野 原 忠男

秋深みつわぶきの花をここに  
輝ヶ丘 細美じけき

### 川柳

仏間の灯ともして朝のティータイム  
古市 奥田八重子

### 蒜山(あじま)サービスエリア あたりが、ちょうどお昼どき



鳥根寮安来市に着くと、今まで晴れていた空がにわかにおかしくなり、冷たい雨が降り出しました。その寒かったこと、以前、三月にやはり日本海側を旅行した時にも、一日で「天気フルコース」を味わいました。晴れ・曇り・雨・みぞれ・雪・吹雪と目まぐるしく変化する空。道ゆく人はみな雨靴を履き、傘を持っていたのを思い出しました。



先月号にひきつづき  
回収率は何%?

先月号で「広報なんこくアンケート調査」を実施しましたが、さて回収率は何%だったでしょうか? (小数字以下切り捨て・配布数は1万6千とします)

いろいろなアンケート調査についての思い出などもお寄せください。  
■締め切り、11月1日(日)必着  
■あて先  
〒783 南州市大浦甲2301  
市企画課現子クイズ係  
■賞品 正解者10人に(正解者がいない場合は、正解に近い回答者)抽選で図書券を進呈  
※図書券は、毎回の正解者から広報委員が厳正に抽選を行い、進呈しています。